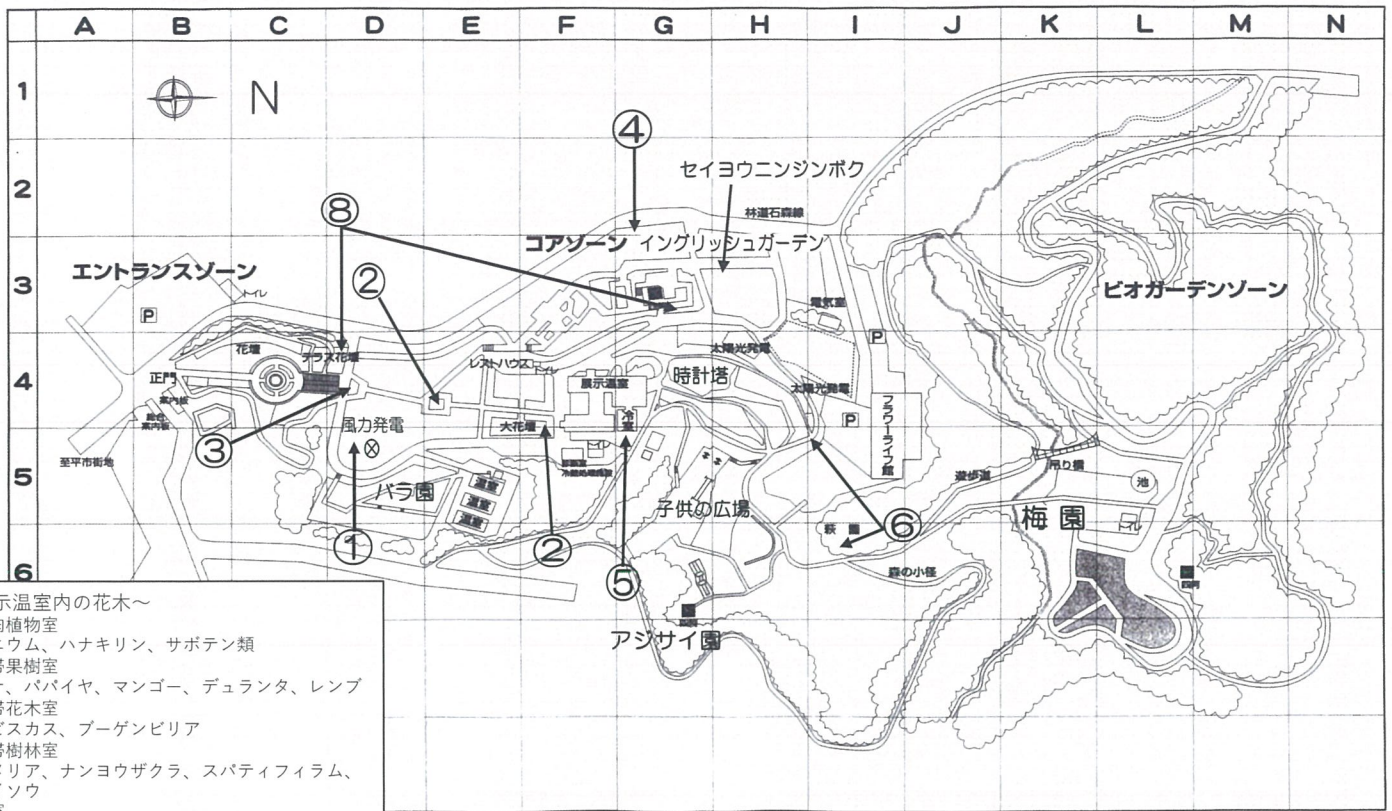


フラワーセンター【9月の花】

2019年度

※園内の植物の盗難が相次いでいます。

園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～
 ・多肉植物室
 ゼラニウム、ハナキリン、サボテン類
 ・熱帯果樹室
 バナナ、パパイヤ、マンゴー、デュランタ、レンブ
 ・熱帯花木室
 ハイビスカス、ブーゲンビリア
 ・熱帯樹林室
 プルメリア、ナンヨウザクラ、スパティフィラム、
 トケイソウ
 ・冷室

①コキア (展示温室前・風力発電下)



アガサ科 一年草 原産：アジア
 夏になると茎に小花をびっしりと付けます。花には雄花と雌花があります。花びらはなく、淡緑色の萼があります。夏は爽やかなグリーン色の葉ですが、秋になると真っ赤に紅葉する姿が美しいです。

②ベゴニア (大花壇)



シュウカイドウ科 多年草 原産：熱帯、亜熱帯地域
 多年草で中には多肉質な木質になる茎をもつ品種もあります。なかでも四季咲きベゴニアはベゴニア・センパフローレンスともい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせられた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート形の花弁が愛らしく人気があります。
 ※一般的には秋には枯れる一年草扱いの植物です。

③ランタナ (大花壇を上げて正面の花壇)



クマツヅラ科 常緑低木 原産：熱帯アメリカ・アフリカ
 7～11月の高温期に小さな花を多数集めて傘状に咲かせます。花の色が橙から赤というように変化していくので、「七変化」の別名があります。開花期間が長く、丈夫なので、鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用されます。

④メキシカンブッシュセージ (イングリッシュガーデン)



シソ科 宿根草 原産：メキシコ・中央アメリカ
 花びらは白色や淡いピンクで、がくからよっきりと伸びるようにつきます。がくは紫色でフェルト生地のような毛が生えて軟らかい雰囲気を持ち、花びらよりも印象に残ります。穂はきれいな紫色に見え、アメジストセージやベルベットセージの別名もあります。

⑤マーガレットコスモス (令室前)



キク科 多年草 原産：南アフリカ
 マーガレットやユリオプスデージーに似た花を咲かせます。花が咲く時期が夏から冬に掛けてと、マーガレットやユリオプスデージーと違います。多年草で夏の暑さに強く、ある程度の耐寒性もあるので毎年花を咲かせることもできます。

⑥ミヤギノハギ (フラワーライフ館前駐車場付近)



マメ科 落葉低木 原産：日本
 日本に自生するハギの種類は十数種あり、白い花をつけるシラハギ、葉が円形のマルバハギが知られています。また、仙台市の宮城野から名づけられたミヤギノハギは古来より有名です。普通のハギより上品で優雅で、紅紫色の花をつけます。

⑦アベリア (フラワーライフ館～展示温室間の通路生垣)



スイカズラ科 常緑低木 原産：東アジア、メキシコ
 公園や道路沿いに数多く植栽されています。庭木としての利用はまだ少ないですが、コンパクトで好みの大きさに剪定することができ、花が美しいのはもちろん、斑入りなど、葉の観賞価値の高い園芸品種もあり、おすすめの花木です。

⑧アマクリナム (イングリッシュガーデン東側・テラス花壇)



ヒガンバナ科 球根植物 原産：交配種
 アメリカで作出されたベラドンナリリー (ホンアマリリス) とハマユウ (クリナム) の交配種です。ベラドンナの甘い香りと優美な花姿にハマユウの多花性の性質を兼ね備え花径10cm程の花を数輪咲かせ、存在感のある球根植物です。